

## 日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

(2018年6月〔往航〕速報値)

(公財) 日本海事センター 企画研究部

\* 文中の％は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

### I. 往航（アジア 18 ヶ国・地域→米国）の荷動き

- (1) 2018年6月のアジア（18 ヶ国・地域）から米国へのコンテナ荷動き量は、前年比3ヶ月ぶりの増加となる4.0%増の143.5万TEUと6月単月では過去最高を更新。4-6月の四半期別では前年同期比1.1%減の408.8万TEUと7期（2016年7-9月）ぶりの減少。一方、1-6月の累計では前年同期比3.7%増の817.9万TEUと過去最高を更新。
- (2) 国別では、韓国（3.7%減）、インド（1.0%減）などが減少となったものの、日本（3.1%増）、中国（5.9%増）、台湾（4.1%増）、ベトナム（3.6%増）などの主要国が増加。地域別では、ASEAN（0.6%増）は微増、南アジア（0.7%減）が微減。
- (3) 品目別では、「家具及び家財道具」（寄与度1.3%増）、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」（同0.5%増）、「繊維及びその製品」（同0.3%増）、「タイヤ及びチューブ」（同0.2%増）、「建築用具及び関連品」（同0.2%増）などが増加に寄与。
- (4) 日本は、2ヶ月連続の増加となる3.1%増の5.7万TEU。品目別の1位（2017年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「自動車部品」（1.2%減）が5ヶ月連続の減少となったものの、2位の「車両機器及び部品」（3.3%増）が2ヶ月連続の増加、3位の「タイヤ及びチューブ」（19.3%増）が2ヶ月ぶりの増加、4位の「建設機械」（28.3%増）が8ヶ月連続の増加。
- (5) 中国は、3ヶ月ぶりの増加となる5.9%増の95.5万TEU。1位の「家具及び家財道具」（9.6%増）が4ヶ月ぶりの増加、2位の「繊維及びその製品」（4.4%増）及び4位の「床材・ブラインド等のプラスチック製品」（14.6%増）が3ヶ月ぶりの増加、3位の「一般電気機器」（2.6%増）が2ヶ月ぶりの増加。香港は3ヶ月連続の減少となる2.8%減の2.3万TEU。
- (6) 韓国は、2ヶ月連続の減少となる3.7%減の6.5万TEU。1位の「自動車部品」（0.9%増）が3ヶ月ぶりの増加となったものの、2位の「一般電気機器」（24.2%減）が3ヶ月連続の減少、3位の「タイヤ及びチューブ」（13.1%減）が4ヶ月連続の減少。
- (7) 台湾は、4ヶ月ぶりの増加となる4.1%増の5.4万TEU。1位の「建築用具及び関連品」（5.3%増）及び4位の「床材、ブラインド等のプラスチック製品」（12.6%増）が4ヶ月ぶりの増加、6位の「鋼材及びその製品」（8.1%増）が6ヶ月連続の増加。
- (8) ASEANは、マレーシア（10.3%減）、インドネシア（4.3%減）、タイ（0.9%減）が減少となったものの、ベトナム（3.6%増）となったことなどにより、全体では2ヶ月ぶりの増加となる0.6%増の20.8万TEU。ベトナムは2ヶ月ぶりの増加となる3.6%増の9.0万TEU。1位の「家具及び家財道具」（7.5%増）が2ヶ月ぶりの増加、2位の「繊維及びその製品」（12.5%増）が3ヶ月連続の増加、3位の「履物及び附属品」（7.5%増）が12ヶ月連続の増加。

- (9) 南アジアは、バングラデシュ（10.0%増）以外が減少となったことなどにより、全体では15ヶ月ぶりの減少となる0.7%減の7.2万TEU。インドは15ヶ月ぶりの減少となる1.0%減の5.3万TEU。1位の「繊維及びその製品」（7.3%減）が2ヶ月連続の減少、2位の「家具及び家財道具」（2.1%減）が4ヶ月ぶりの減少。

表-1 2018年6月：積国・地域別荷動き

国・地域	往 航				
	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	シェア (%)	1-6月の 累計(TEU)	前年同期比 (%)
18ヶ国・地域 合計	1,434,552	4.0	100.0	8,178,631	3.7
日本	57,171	3.1	4.0	327,868	1.3
韓国	64,991	▲3.7	4.5	398,630	2.5
台湾	53,961	4.1	3.8	312,570	0.2
中国+香港 計	978,216	5.7	68.2	5,395,877	3.5
中国	954,838	5.9	66.6	5,259,922	3.6
香港	23,378	▲2.8	1.6	135,954	▲3.2
マカオ	18	▲28.8	0.0	126	▲11.9
ASEAN 計	207,716	0.6	14.5	1,267,960	4.9
シンガポール	8,273	16.7	0.6	48,977	9.7
フィリピン	9,937	1.1	0.7	61,297	▲2.5
マレーシア	21,627	▲10.3	1.5	140,498	1.9
インドネシア	29,012	▲4.3	2.0	185,716	▲0.1
タイ	43,752	▲0.9	3.0	263,619	6.5
ベトナム	89,737	3.6	6.3	532,965	5.8
カンボジア	4,948	22.8	0.3	31,627	35.1
ミャンマー	430	16.4	0.0	3,262	22.4
南アジア 計	72,478	▲0.7	5.1	475,600	9.0
スリランカ	3,397	▲14.0	0.2	23,204	7.7
バングラデシュ	8,380	10.0	0.6	50,096	6.4
パキスタン	7,729	▲2.5	0.5	51,163	2.8
インド	52,973	▲1.0	3.7	351,138	10.4

(注) 集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEANのうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの8ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの4ヶ国、合計18ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、後に若干の修正が加わる場合がある。

## II. 品目別荷動き

- (1) 往航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している住宅関連 3 品目（「家具及び家財道具」、「建築用具及びその関連品」、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」）の合計荷動き量は、3 ヶ月ぶりの増加となる 9.0%増の 33.8 万 TEU（シェア 23.6%）。

品目別でみると、「家具及び家財道具」は 3 ヶ月ぶりの増加となる 8.4%増の 22.9 万 TEU、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」も 3 ヶ月ぶりの増加となる 12.2%増の 6.8 万 TEU、「建築用具及びその関連品」も 3 ヶ月ぶりの増加となる 7.4%増の 4.0 万 TEU。

- (2) 「繊維及びその製品」は 3 ヶ月ぶりの増加となる 3.3%増の 14.9 万 TEU。
- (3) 「一般電気機器」は 4 ヶ月連続の減少となる 3.5%減の 9.9 万 TEU、「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」は 2 ヶ月ぶりの増加となる 4.2%増の 3.7 万 TEU。
- (4) 「自動車部品」は 3 ヶ月ぶりの増加となる 1.2%増の 5.2 万 TEU、「タイヤ及びチューブ」も 2 ヶ月ぶりの増加となる 7.6%増の 4.2 万 TEU。

表-2 往航:2018年6月の品目別荷動き(上位10品目)

品目名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	1-6月 前年同期比(%)	シェア (%)
1. 家具及び家財道具	229,432	8.4	1.3	2.8	16.0
2. 繊維及びその製品	148,672	3.3	0.3	2.8	10.4
3. 一般電気機器	99,407	▲3.5	▲0.3	0.8	6.9
4. 床材・ブラインド等のプラスチック製品	68,411	12.2	0.5	6.8	4.8
5. 自動車部品	52,384	1.2	0.0	▲0.2	3.7
6. タイヤ及びチューブ	41,584	7.6	0.2	6.6	2.9
7. 建築用具及び関連品	40,041	7.4	0.2	2.7	2.8
8. 履物及び附属品	39,215	▲4.0	▲0.1	5.7	2.7
9. 車両機器及び部品	38,146	4.8	0.1	10.4	2.7
10. おもちゃ	37,932	▲7.7	▲0.2	▲6.3	2.6

### Ⅲ. 国別品目別荷動き動向

表-3 往航:2018年6月の国別品目別荷動き(上位5品目)

	順位	品目名	TEU	前年比(%)	自国におけるシェア(%)	1-6月前年同期比(%)
	日本積	1位	自動車部品	13,104	▲1.2	22.9
	2位	車両機器及び部品	7,288	3.3	12.7	3.6
	3位	タイヤ及びチューブ	5,059	19.3	8.8	6.4
	4位	建設機械	4,279	28.3	7.5	14.7
	5位	テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	2,291	▲16.1	4.0	10.4
中国積	1位	家具及び家財道具	166,881	9.6	17.5	0.9
	2位	繊維及びその製品	91,913	4.4	9.6	3.1
	3位	一般電気機器	73,812	2.6	7.7	2.9
	4位	床材・ブラインド等のプラスチック製品	56,630	14.6	5.9	8.5
	5位	おもちゃ	33,359	▲6.8	3.5	▲6.1
韓国積	1位	自動車部品	8,940	0.9	13.8	▲6.9
	2位	一般電気機器	7,448	▲24.2	11.5	▲4.7
	3位	タイヤ及びチューブ	4,803	▲13.1	7.4	▲7.4
	4位	車両機器及び部品	4,222	12.3	6.5	15.3
	5位	レジン等の合成樹脂	2,835	▲4.3	4.4	▲5.0
台湾積	1位	建築用具及び関連品	6,899	5.3	12.8	1.6
	2位	自動車部品	6,228	▲3.5	11.5	▲2.8
	3位	家具及び家財道具	3,862	▲4.4	7.2	▲10.1
	4位	床材・ブラインド等のプラスチック製品	3,798	12.6	7.0	▲0.7
	5位	タイヤ及びチューブ	1,849	▲20.5	3.4	▲5.8
ベトナム積	1位	家具及び家財道具	36,542	7.5	40.7	8.5
	2位	繊維及びその製品	14,145	12.5	15.8	9.2
	3位	履物及び附属品	8,682	7.5	9.7	17.6
	4位	一般電気機器	2,235	▲44.8	2.5	▲37.8
	5位	コンピュータ及び半導体	2,190	▲13.3	2.4	▲13.7
インド積	1位	繊維及びその製品	10,471	▲7.3	19.8	0.4
	2位	家具及び家財道具	2,876	▲2.1	5.4	13.5
	3位	鋼材及びその製品	2,572	3.4	4.9	22.0
	4位	セメント、石、砂、粘土等	2,782	9.0	5.3	2.7
	5位	文房具及び骨董品	1,906	▲1.2	3.6	6.7

注:2017年(確定値)における各国の順位による

#### IV. コンテナ運賃の動向

表-5 往航:コンテナ運賃の推移(2017年/2018年対比)

(1)EASTBOUND			(Drewry:Container Freight Rate Insight)										2018年6月8日			
積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Shanghai (China)	Los Angeles (U.S.A)	2017年	20ft	1,830	1,820	1,320	1,350	1,380	1,150	1,190	1,500	1,400	1,240	1,260	1,120	
			40ft	2,300	2,270	1,650	1,660	1,690	1,460	1,520	1,910	1,790	1,600	1,620	1,420	
		2018年	20ft	1,270	1,360	1,060	1,070	1,230								
			40ft	1,630	1,740	1,410	1,430	1,510								
		前年比	20ft	-30.6%	-25.3%	-19.7%	-20.7%	-10.9%								
			40ft	-29.1%	-23.3%	-14.5%	-13.9%	-10.7%								
Shanghai (China)	New York (U.S.A)	2017年	20ft	2,840	2,660	2,380	2,240	2,180	1,920	1,990	2,290	2,020	1,670	1,770	1,700	
			40ft	3,570	3,420	3,000	2,770	2,720	2,420	2,520	2,910	2,500	2,150	2,270	2,130	
		2018年	20ft	2,300	2,350	1,860	1,870	2,030								
			40ft	2,910	3,090	2,420	2,400	2,510								
		前年比	20ft	-19.0%	-11.7%	-21.8%	-16.5%	-6.9%								
			40ft	-18.5%	-9.6%	-19.3%	-13.4%	-7.7%								
Yokohama (Japan)	Los Angeles (U.S.A)	2017年	20ft	1,710	1,650	1,610	1,570	1,600	1,580	1,510	1,760	1,600	1,530	1,530	1,470	
			40ft	2,090	2,010	1,960	1,910	1,920	1,930	1,840	2,150	1,950	1,870	1,870	1,800	
		2018年	20ft	1,550	1,600	1,500	1,500	1,550								
			40ft	1,890	1,960	1,830	1,830	1,880								
		前年比	20ft	-9.4%	-3.0%	-6.8%	-4.5%	-3.1%								
			40ft	-9.6%	-2.5%	-6.6%	-4.2%	-2.1%								
Yokohama (Japan)	New York (U.S.A)	2017年	20ft	2,810	2,920	3,050	2,680	2,860	2,680	2,440	2,750	2,490	2,310	2,280	2,410	
			40ft	3,380	3,500	3,650	3,200	3,420	3,190	2,900	3,310	2,890	2,750	2,700	2,880	
		2018年	20ft	2,780	2,750	2,540	2,560	2,400								
			40ft	3,380	3,300	3,060	3,070	2,900								
		前年比	20ft	-1.1%	-5.8%	-16.7%	-4.5%	-16.1%								
			40ft	0.0%	-5.7%	-16.2%	-4.1%	-15.2%								

参考資料

表一 米国内地域別(西岸/東岸/ガルフ)荷動きの構成比の推移

米国内地域 集計年(月)	往 航			復 航		
	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2015年4月	65.2	31.5	3.3	58.3	37.6	4.1
5月	65.1	31.9	3.0	60.1	35.5	4.5
6月	64.8	32.8	2.4	58.0	38.6	3.4
7月	64.0	33.3	2.7	60.9	35.3	3.8
8月	67.1	30.5	2.4	63.1	33.7	3.3
9月	64.9	32.5	2.7	57.9	38.1	4.0
10月	64.3	33.3	2.4	60.6	36.1	3.4
11月	66.8	30.8	2.3	59.0	37.5	3.5
12月	64.7	32.1	3.2	59.3	36.2	4.5
2016年1月	65.8	31.4	2.7	56.9	38.9	4.2
2月	64.1	33.0	2.9	59.8	35.9	4.3
3月	60.9	36.2	2.9	60.3	35.4	4.4
4月	65.6	31.5	2.9	60.7	35.4	4.0
5月	65.8	31.6	2.6	58.7	37.3	4.0
6月	64.9	31.9	3.2	58.9	36.6	4.5
7月	64.0	32.6	3.4	61.2	34.4	4.4
8月	63.8	32.9	3.3	60.1	35.5	4.4
9月	64.0	32.5	3.5	60.3	35.1	4.6
10月	63.6	32.6	3.8	60.9	34.5	4.5
11月	65.2	31.2	3.6	60.4	35.0	4.5
12月	64.7	31.8	3.5	58.8	35.6	5.6
2017年1月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018年1月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3
4月	64.8	31.4	3.8	54.9	40.3	4.8
5月	66.5	29.4	4.1			
6月	60.2	35.3	4.6			